

2 4 陳情第 4 号

2 4 陳 情 第 4 号	国に向けて「子ども・子育て新システム」撤回の意見書提出を 求める陳情
付 託 委 員 会	福祉健康委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成 2 4 年 3 月 8 日 受 理、平成 2 4 年 3 月 9 日 付 託
陳 情 者	新宿区下落合————— ————— 代表 —————

( 要 旨 )

政府及び国会においては、以下の項目について早急に実現を図り、誰もが安心出来る現在の保育制度を維持・拡充されるよう、国に向けて意見書を提出していただく事を強く求めます。

- 1 子ども・子育て新システムを撤回すること。
- 2 保育制度見直しに当たっては、保護者、保育現場等の意見を十分尊重し、慎重に検討すること。
- 3 「安心子ども基金」の拡充等、保育の充実に向けた地方の創意工夫が活かされる予算増額をすること。

( 理 由 )

「子ども・子育て新システム」の導入は、保育現場に市場原理が持ち込まれることになり、福祉としての保育制度が維持されないことや、保護者の負担増につながる制度見直しとなるなどの懸念があり、国の責任で福祉として行われてきた保育制度の根幹が大きく揺らぐ恐れがあります。

現状では「子ども・子育て新システム」導入は極めて不透明な情勢となっています。このままでは、保育現場や保護者の不安は増し、無用な混乱や不安に拍車がかかることとなります。